

安全運行に対する取組

阪急バス株式会社



1.輸送の安全に関する目標及び達成状況

1

2024年度目標及び結果

●安全スローガン

「まず止まれ」「まず確認」「まず報告」

<安全行動>

停車時 止まったら サイドブレーキ 確実に
二段階バック 駐車枠 手前で止まり 後ろよし
車内点検 閉扉前 必ず車内 シグザグに

●CSスローガン

バス停付近は速度を落としてよく確認！！乗っていただく あと一人

●重点目標

①重大事故発生件数

目標 0件

⇒ 結果 1件 ※第二当事者事案

②健康に起因する事故発生件数

目標 0件

⇒ 結果 0件

③重点防止事故発生件数

目標 30%削減

⇒ 結果 28.1%削減

【追突、後退、構内、歩行者、二輪車、車内（バス停発進時、過失による急制動）、扉】

④飲酒、酒気帯び出勤

目標 撲滅

⇒ 結果 未達成 ※飲酒運転事案なし →すいすいバスに関する事案なし

⑤CS推進

お褒め件数

目標 2%増加

⇒ 結果 18.1%減少

苦情件数

目標 5%削減

⇒ 結果 7.6%削減

●輸送の安全に関する投資額

*バス車両更新、増車に伴う投資

⇒ 結果 10.8億円

*自動車事業本部従事員の教育指導実施に伴う投資

⇒ 結果 9.8億円

*安全管理体制強化に伴う投資

⇒ 結果 0.6億円

（安全設備導入、SAS・脳ドック検査・健康診断法定外項目の充実）

⇒ 結果 0.4億円

安全CSスローガン



2.輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

2024年度

- (1) 社長、安全統括管理者の職場巡視 (7回)
- (2) 安全輸送推進委員会 (4回)
- (3) 安全管理会議の開催 (12回)
- (4) 経営管理部門管理職による早朝・夜間点呼立会い (27回)
- (5) 営業所事故防止対策委員会 (延べ96回)
- (6) 営業所責任者教育(階層別研修・運行管理者一般講習等) (延べ355名)
- (7) 安全運転セミナーの開催 (36回)
- (8) 年度目標ドラレコ講座の開催 (1, 569名)
- (9) 運転士教習・スキルアップ教育(入社3年未満)・新任運転士教習・エルダー教習・指導運転士教習等の実施 (延べ734名)
- (10) 外部機関研修(クレフィール湖東等)の実施 (75名)
- (11) ナ斯巴ネット等による適性診断の実施 (606名)
- (12) CSミーティングの開催 (延べ68回)
- (13) 無事故無違反チャレンジコンテストへの参加 (大阪・兵庫・京都 計125チーム 1, 558名)
- (14) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施 (413名)
- (15) 脳ドック検査の実施 (376名)
- (16) 代替車等の導入 (36両)
- (17) 一般路線バスへのLEDヘッドライトの導入 (装着率100%)
- (18) 一般路線バスへの左サイドビューカメラの設置車両の導入 (装着率32.3% 271両/838両)
- (19) 一般路線バスへの右アンダーミラーの設置車両の導入 (装着率 84.0% 704両/838両)
- (20) 優良運転士表彰の実施及び社長等と受賞者代表による座談会の開催 (7月)
- (21) 第5回ドライバーズコンテストの開催 (5月)
- (22) 緊急事態対策訓練の実施(地震発生時の乗客避難誘導訓練他) (9月、11月)



3.自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2024年度	
第2条第3号に関する報告（死者又は重傷者を生じた事故）	1件 ※第2当事者事案
同上第9号に関する報告（運転士の疾病）	0件
同上第11号に関する報告（車両故障）	23件

※すいすいバスに関する事故はありません



4.輸送の安全に関する目標計画

2025年度目標と計画

●安全スローガン

「まず止まれ」「まず確認」「まず報告」

<安全行動>

交差点	アクセルを	ゆるめて徐行	事故防止
後退時	駐車枠	手前で止まり	後ろよし
自転車	不規則な	二輪の動きを	予知予見

●CSスローガン

正確な運行で安心を提供し 笑顔で謝辞を伝えよう

●重点目標

- ①重大事故発生件数
- ②健康に起因する事故発生件数
- ③重点防止事故発生件数
【追突、後退、構内、歩行者、二輪車、車内（バス停発進時、過失による急制動）、扉】
- ④飲酒、酒気帯び出勤
- ⑤CS推進
 - お褒め件数
 - 苦情件数
- 輸送の安全に関する投資額
 - *バス車両更新、増車に伴う投資
 - *自動車事業本部従事員の教育指導実施に伴う投資
 - *安全管理体制強化に伴う投資
(安全設備導入、SAS・脳ドック検査・健康診断法定外項目の充実)

目標	0件
目標	0件
目標	16%削減
目標	撲滅
目標	6%増加
目標	5%削減
予算	16.8億円
予算	15.4億円
予算	0.8億円
予算	0.6億円

安全CSスローガン



5.輸送の安全に関する基本的な方針

経営トップ・安全統括管理者が全従業員に対し
「輸送の安全の確保」が事業経営の根幹で
あることを主体的に関与し浸透を図る

安全宣言

「輸送の安全の確保」は、社会に対する最大の責務であり、阪急バスグループの存立基盤です。私たちは、かけがえのない「尊い命」を決して傷つけることのないよう、一人ひとりが誠実な執務を積み重ねることを固く誓い、ここに安全宣言をいたします。

安全はすべてに優先する

安全の確保に
近道はなし

厳正な執務が安全の
原点であることを忘れ
ません。

安全の確保に
妥協はなし

現状に満足すること
なく更なる安全を目指
します。

安全の確保に
終わりはない

安全という終わりのない
命題に向かい、日々自己
研鑽に努めます。

阪急バス企業理念

使 命

【私たちは何のために集い何をめざすのか】
まごころのこもったサービスをご提供することにより、
「ありがとう」と「笑顔」があふれるまちづくりに貢献します。

理 想 像

【使命を果たすために、
私たちはどのような姿になるべきか】

ひととまちに優しい
阪急バス

価 値 観

【私たちは何を大切に考えるのか】
「安全」すべてに優先する最大の責務であり、
私たちの存立基盤です。
「感謝」これこそが私たちのまごころの原点です。
「尊重」お互いを認めあうことが絆を生み、
一人ひとりの力を引き出します。
「誠実」誠実であることが、私たちへの信頼に
つながります。
「革新」変わり続けることが、成長の条件です。

行動規範

【「価値観」を守り、「理想像」を具現化し、「使命」を果たしていくために、私たちはどのように行動するのか】

- 私たちは、安全を確保するため、厳正な執務を行います。
- 私たちは、まごころをこめた「ありがとうございます」で謝意を伝えます。
- 私たちは、お互いを大切にし、理解し合うために対話を尽くします。
- 私たちは、社会のルールを守り、責任と誇りを持って行動します。
- 私たちは、より良い姿をめざし、挑戦し続けます。

安全宣言

「輸送の安全の確保」は、社会に対する最大の責務であり、
阪急バスグループの存立基盤です。私たちは、かけがえのない
「尊い命」を決して傷つけることのないよう、一人ひとりが誠実な
執務を積み重ねることを固く誓い、ここに安全宣言をいたします。

安全はすべてに優先する

- 安全の確保に近道はなし
厳正な執務が安全の原点であることを忘れません。
- 安全の確保に妥協はなし
現状に満足することなく更なる安全を目指します。
- 安全の確保に終わりはない
安全という終わりのない命題に向かい、日々自己研鑽
に努めます。

環境宣言

未来の地球のために、一人ひとりが環境に対する意識を高め、
環境を守る活動を行うことを固く誓い、ここに環境宣言をいた
します。

- 環境法令を守り、環境意識の向上に努めます。
- エコドライブの徹底を図り、省資源活動を推進
します。
- 環境に優しいバスを積極的に導入します。
- 公共交通機関利用促進への働きかけを行
います。

2024年4月1日 取締役社長 三田和男

6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

6

(1) 安全最優先・法令遵守の職場風土の醸成

安全宣言及び安全スローガンの浸透と実践について、社長・安全統括管理者による職場巡視等の諸施策により検証するとともに、安全最優先・法令遵守の職場風土の醸成に努めます。

社長・安全統括管理者による職場巡視
責任者との懇談会



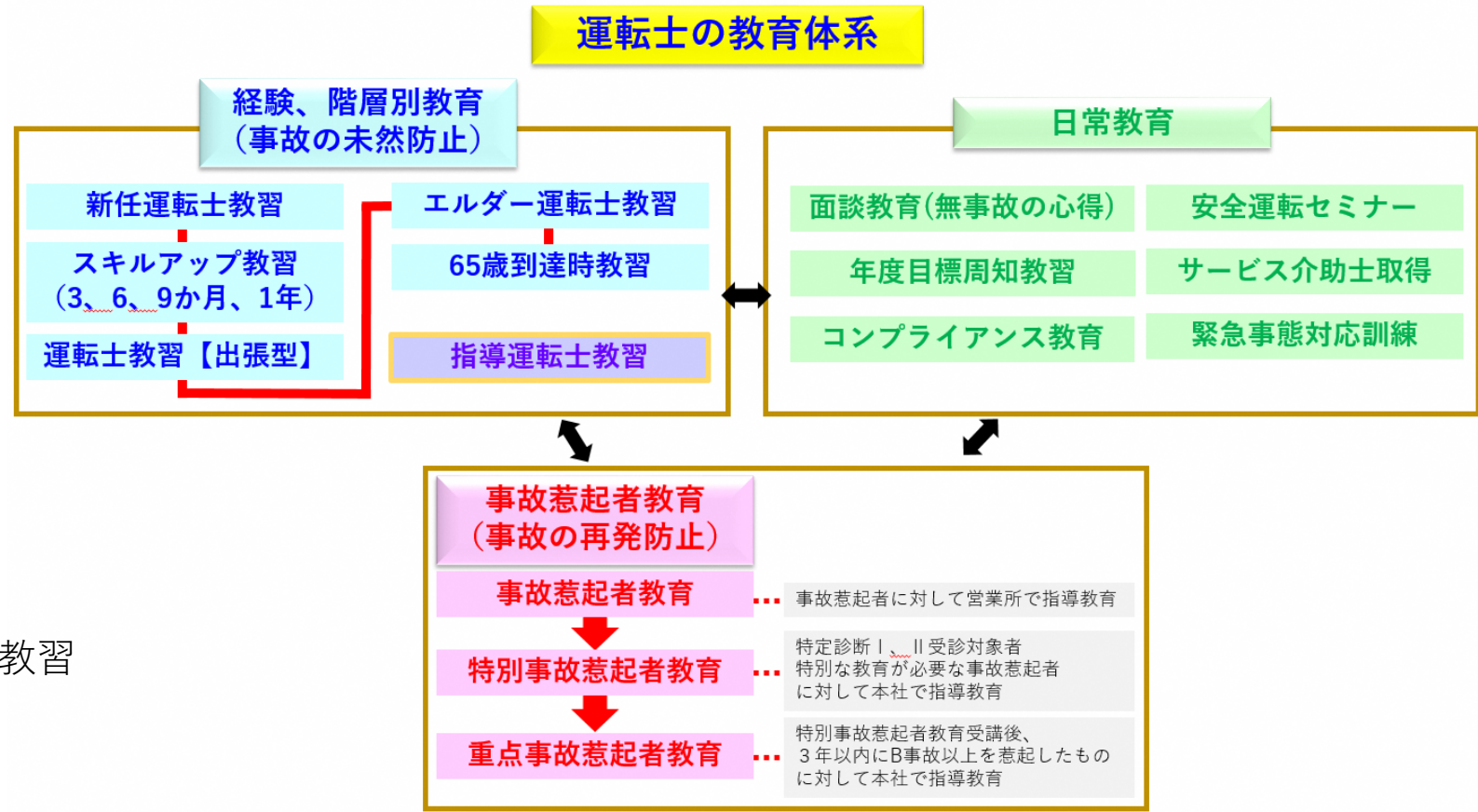
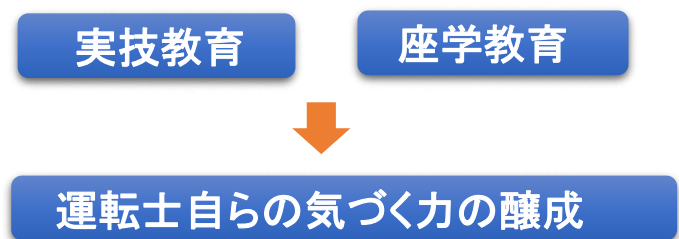
点呼立会い



6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

(2) 運転士教育（基本体系）

・運転士教育の基本的な考え方



□ 年齢・経験・職位別に実技教育を計画実施

- 大型経験のない新任運転士には、
- ・ O D 式適性診断での個々の適性に応じた教習
 - ・ 指差及び安全呼称の体得
 - ・ 配属後のフォローアップで育成



6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

8

(2) 運転士教育（新任運転士）

- 新任運転士に対しては入社後40日間の教育を実施
- 入社3、6、9ヶ月、1年次にスキルアップ教習を実施

新任運転士教習



スキル
アップ

スキルアップ教習



専任教育担当による教育実施（40日間）

※添乗者の指導歴…指導経験 20 年以上の指導者が実施

- 関係法令等に関する教育、CS講習、普通救急救命講習等（計5日）
- 大型車両による構内での基本操縦訓練、一般道走行訓練（計35日）
※市街地および郊外路線、狭隘路等で安全運転の具体的な実技指導
車両の構造上の特徴、交通状況に応じた運転技術の取得
- サービス介助士資格取得

入社3、6、9ヶ月次に専任教育担当によるフォローアップを実施

- 実技指導、グループディスカッションによる基本実施事項の再確認

入社1年次にクレフィール湖東にて教育実施

- 車の構造的特性や人の行動特性による安全の限界をあらゆる交通シーンの体験
- 危険の回避に必要な安全運転の知識や技能を実践的に習得

6. 輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

9

(2) 運転士教育（運転士・高齢運転士・指導運転士）

アイマークレコーダー教習

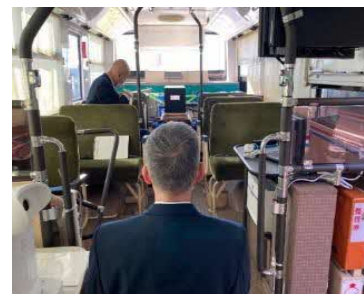


- 安全運転訓練車、アイマークレコーダー等の教育機材や外部の教育施設を有効に活用

高齢運転士教習



動体視力計 コーワ AS-4Fa



電動式深視力計 コーワ



- 60歳以上の高齢運転士には、視機能検査器具により加齢による動体・夜間・深視力の変化を適切に指導

指導運転士教習



- 指導運転士には、外部機関を活用した実技教習と、教え方のポイント等の教育で指導力の維持、向上

6. 輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

(2) 全運転士への教育（年度方針周知教育）

- ❑ 運輸部長のメッセージDVDによる安全スローガン・重点目標など年度方針の浸透
- ❑ 視聴覚教材による安全運転教育等の実施

年度目標周知教育

MENU

Lesson1 11分06秒 再生
スローガン2025

Lesson2-1 8分55秒 再生
終点・帰庫時の車内点検
(乗客置き去り防止)

Lesson2-2 1分09秒 再生
二段階バック
(後退事故撲滅)

Lesson3 17分02秒 再生 映像選択
ドライブレコーダー映像
を用いた事故検証

2025年度 安全・CSスローガン
安全 CS
まず止まれ 正確な運行で
まず確認 安心を提供し
まず報告 笑顔で謝辞を
伝えよう

2025年度
年度目標
ドラレコ活用講座
阪急バス株式会社

バス停でお待ちのお客様が
バランスを崩し転倒

おまん運転によって
直前で停止し接触を回避

一方で、危険と感じ停車した結果、事故とならず
ファインプレーにつながった良い運転行動も多く見受けられました

安全運転教育

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施
(毎年12月10日～1月10日)

本点検を通じ「輸送の安全最優先」に万全を期してください

タイトル	時間
交差点右左折時の一旦停止で事故防止	12分46秒
車内事故防止	
運転中のスマートフォン操作の危険性	
薬物乱用の防止	
飲酒習慣の見直しについて（酒気帯び出勤の撲滅）	
後退時の基本動作 二段階バック	
終点・帰庫時の車内点検の徹底（閉じ込め防止）	



どのようなことに注意し、防犯事故を防ぐべきか？

必ず、アナウンスをしてから発車する

発車しながらアナウンス NG

停車 → サイドブレーキ → 着座まで待つ → 確認して発車

異常発生時の報告の徹底（自己判断しない）

運転士

運行中の異常発生時の対応

- 1 安全な場所で停車(バス停に優先)
自己の判断で運行を継続しないこと
- 2 負傷者がいる場合は最優先に対応
乗客又は付近の人に119番要援をお願いする
- 3 お客様へのご説明若しくはお助け
乗客・乗務員、路線経路異常等に応じた対応
- 4 IP無線で営業所に連絡
運行管理者への報告と指示を仰ぐ
- 5 お客様への対応
状況に応じて乗客へ(代車・経路変更)を案内する

経路間違い発生後、運行管理者
への報告を怠り、自己判断で経路
復帰しようと方向転回しての事故
が発生している。
運行中に異常が発生すると誰もが
慌てて、冷静な判断ができなくな
る。
したがって、運行中異常が発生
した場合は、落ち着いて安全な場
所にまず車両を停車させ、運行管
理者に報告して指示を仰ぐこと

6. 輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

11

(2) 全運転士への教育（基本作業手順の周知）

- ❑ 基本作業手順別の視聴覚教材による事故、不祥事の再発防止対応の浸透

扉操作手順の徹底



2段階バックの推進



車内点検の徹底



常日頃は「認識出来ていない」事を、意識していない人が多い

6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

12

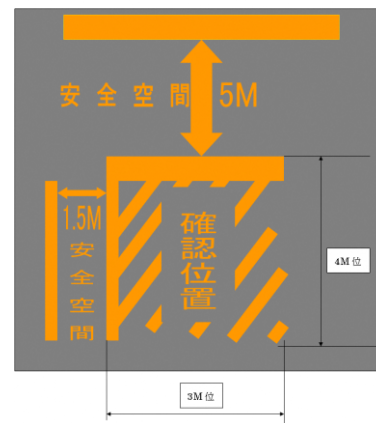
(3) 日常監督指導の強化（実施状況の定点確認）

- ❑ 現場管理者による重点危険交差点での右左折時の一旦停止状況の確認
- ❑ 構内設置の安全エリアの活用による安全空間の再確認
- ❑ 個人携帯電話の保管ロッカー預け入れの徹底と運用確認

交差点立ち番



安全エリアの活用



個人携帯電話の管理徹底



6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

13

(4) 情報の伝達及び共有（点呼での映像活用による周知）

□ 同種事故防止への危険感受性向上と再発防止対策の共有のための迅速な事故・ヒヤリハット映像の共有

事故概要と再発防止対策の共有

自動車事故発生連絡
(ヒヤリハット連絡)

発生日時2023年1月28日(土) 14時45分 晴

発生場所豊中市東泉丘2丁目1

路線名豊中市内線

道路状況平坦

制限速度40

実速度23

キロ

キロ

☆当時の状況及び現場写真

直線道路を進行の際、対向車線渋滞車列の間から道路を走って横断してきた児童を認め、かまえて運転をしていたことからとっさに急制動をかけた接触を回避したもの

直ちに車内のお客様に怪我の有無を確認するとともに、急制動に至った状況の説明を行い、現在のところお怪我の申告はありません

①対向車の間から児童が飛び出す

②急制動をかける

③接触を回避

基本運転姿勢とかまえて運転について

基本運転姿勢

かまえて運転の必要性

事故防止実践項目

①対向車後方(特に対向バス)の死角は飛び出しの危険がある
⇒アクセルをゆるめ(速度抑制)
すぐにブレーキを踏めるよう「かまえて運転」を行う

②とっさに対応できるよう、正しい運転姿勢で運転する

ドラレコ映像の配信（事故、ヒヤリハット等）



6. 輸送の安全に関する計画～各種取り組みについて～

14

(5) 表彰制度による安全意識及びモチベーションの向上

- ❑ 安全意識・モチベーション向上のための優良営業所表彰・優良運転士表彰、懇談会の定期実施
- ❑ 運転技能、接遇、法令の3部門を各営業所からの選抜運転士で競い合うドライバーズコンテスト開催
- ❑ お客様からお褒めを頂戴した運転士のモチベーション向上のためのゲットサンクス賞で表彰

優良運転士表彰及び懇談会



ドライバーズコンテスト



ゲットサンクス賞



ゲットサンクス大賞受賞者は
胸にバッジをつけています！



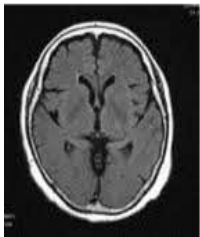
(8) 健康増進対策（運転士の健康管理の徹底）

- ❑ 法定健康診断結果の活用による社員の健康管理
- ❑ 労災二次健康診断・SAS検査・脳ドック検査等の導入による健康起因事故防止と健康増進

脳ドック検査（MRI・MRA）



頭部断層画像
(頭部MRI)



頭部血管画像
(頭部MRA)



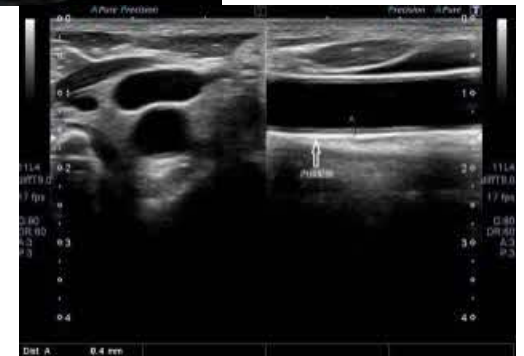
頸部血管画像
(頸部MRA)



SAS検査



労災二次健康診断（心エコー・頸部エコー）



(9) 酒気帯び出勤の撲滅

- ❑ アルコール関連問題の予防対策に取り組むNPO法人ASK認定の飲酒運転防止インストラクターによる飲酒教育と酒気帯び出勤撲滅の風土醸成
- ❑ アルコール検知器にチェック漏れ防止機能を追加（確実な点呼の実施）
- ❑ 本社管理部門による点呼立会いによる点呼実施状況の確認
- ❑ 家庭での飲酒量抑制のためのご家族へ手紙を送付し、従業員家族への啓発や理解度の把握の実施

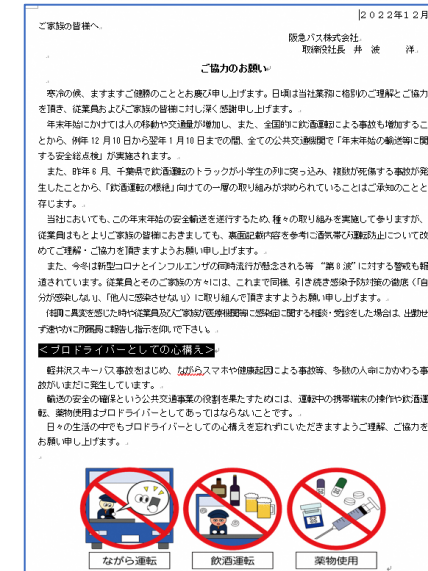
飲酒運転防止インストラクターの養成、教育



アルコールチェッカーを使用した点呼



ご家族への手紙



6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

17

(10) 接遇・サービスの向上

- ❑ 安全とCSは一对との考えのもと、お客様からのご意見の分析と対応
- ❑ 場面に応じたお客様対応のための視聴覚教材作成と活用した教育
- ❑ 障害の社会モデルの考えを基礎としたおもてなし・接遇の体得のため「サービス介助士」資格取得の推進
- ❑ ハンドル形電動車いす（シニアカー）をご利用のお客様への乗車取扱いの推進
- ❑ バスの利用促進と安全な利用方法共有のため、国・自治体等と連携したバスの乗り方教室の開催

教育DVDの活用



降車時の対応



サービス介助士の取得促進



サービス介助士は「心」と「技術」を心得た人

(出典：日本ケアフィット共育機構)



バスの乗り方教室



(10) 接遇・サービスの向上

- ❑ 社内のCS情報連携強化のためのC S ミーティング開催
- ❑ お客様対応の向上のための外部講師によるロールプレイ方式での管理者教育

CSミーティングの開催



お客様対応講習

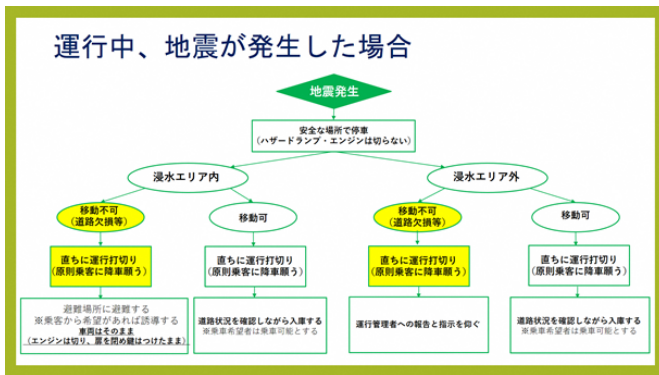


(11) 自然災害等への対応

- ❑ 自然災害等の発生に備えた対応ルールの整備
- ❑ 営業中車両における大地震発生時の初動対応訓練（緊急停止訓練）の実施
- ❑ 緊急事態対策合同訓練の毎年開催による緊急事態発生時の実効性確認と体制強化

自然災害対策

「ハザードマップの設置」



「対応マニュアルの整備」



「緊急発電機の配置」



対応訓練

「緊急停止訓練」



「車両避難」



「バス車内の点呼」



「止水対策」



6.輸送の安全に関する計画～ 各種取組みについて～

(12) 重大な事故・テロ・バスジャック等への対応

重大な事故・テロ・バスジャック対応訓練の実施
(所轄警察、消防と連携)



不審物等への注意喚起
(各停留所、バス車内)

